

# 特別講座

6月2日(土) 17:00~18:30

## A 保育を受ける権利と待機児解消問題

2015年からスタートしたこども・子育て支援新制度も早3年が過ぎました。当初の見込みは外れ、待機児童は都市部を中心にあふれています。その解消のために、幼稚園での2歳児や小規模保育事業での3歳以上児の受け入れなど規制緩和が進んでいます。さらに導入された企業主導型保育事業という新たな企業参入方式も各地で進んでいます。これから待機児童解消を「権利」の観点から参加者とともに考え合いたいと思います。

コーディネーター 中村強士(日本福祉大学)

## B 未来への備え

### ～阪神淡路から繋いできたもの、学びから手をつなごう～

阪神淡路大震災から23年、今でも当時の話を語ると涙が出てしまう保育者の話を聞きました。①当時の保育者の悩みや不安 ②保育園児だった保育者が子どもの時の気持ちや様子 ③緊急時における保育施設の在り方の3つの方向から、時が経ったからこそ見えてきたものや語り合えるようになった思いなど、震災の事実に向き合い、命を守る備えを考えましょう。

コーディネーター 全国保問研震災学習部  
報告1・朝倉ユミ(元神戸市民間保育園保育士)  
報告2・久城直美(元西宮市立保育所保育士)  
報告3・増田百代(兵庫県保育所運動連絡会)

## C みんなのしゃべり場

### ～みんなの悩み・思いを語り合おう～

分科会とは違った雰囲気の中で、保育の魅力や楽しさ、悩みなど語り合いましょ。

コーディネーター 松岡佳春(たからじま保育園)

## D 子どもの権利条約とこれからの保育

### ～改正児童福祉法のもとで～

「子どもの権利条約」を日本が批准して24年たちます。2016年の改正児童福祉法に条約が盛り込まれたことは前進ですが、問題はその精神が新しい保育指針や現場の実践にいかされているかどうかです。むしろ、小学校の新学習指導要領の学力中心主義や英語の教科化が保育にまで影響を及ぼし、子どもたちから「休息と遊びの権利」(第31条)、全体として「子ども時代」が奪われつつあるのが現状ではないでしょうか。これはもはや子どもの人権問題です。本講座では、昨年国連に提出された政府報告書や市民・NGO報告書にもふれながら、国のめざす「子ども像」にとらわれない、実践的・探求的「子ども観」の意義について一緒に考えてみたいと思います。

山下雅彦(東海大学・  
全国保問研熊本集會実行委員長)

## E みんなの幸せを育てるために

衆議院では「希望の党」を通じて、自民党政治の継続と「市民と野党の共闘」の破壊を狙う大がかりな謀略が行われました。しかし、結果は自民・公明13議席減、政権を補完する維新・希望10議席減となり、他方で「市民と野党の共闘」を担う立民・共産・社民の31議席増となりました。「共闘」を守る市民の力の根本には、平和と民主主義を守り、経済政策の転換を願う7つの合意がありました。

しかし、与党だけで改憲案の発議が可能な状況は変わっていません。それを食いとめる3000万署名が開始されました。第57回研究集會が行われる頃に、政治はどのように動いているでしょう。問題を大きくとらえてお話ししたいと思います。

石川康宏(神戸女学院大学)

## F 「気になる子」が変わる時

### ～困難をかかえた子どもの発達と保育～

「気になる子」や障害のある子どもの保育で悩むことがあります。そんなとき、どういうところに目をつけて事実を拾い、クラスや園内で話し合いをしていくと、子ども理解が深まるのかについて考えてみたいと思います。そうやって、子どもの願いや悩みを想像してみるだけで、保育は少しずつ変わっていくはずですよ。

特別支援というハウツー的な技術が語られやすいのですが、保育者の皆さんには「保育」を大切にしていきたいと願いつつ、「気になる子」が変わるのはどんなときなのかについて、兵庫保育問題研究会発達部会で一緒に考えてきたことを踏まえてお話しできればと思います。

木下孝司(神戸大学)

## G 「人を大切にすることを学ぶ方法」について考える

### ～ハンセン病療養所での活動から～

ハンセン病問題はいうまでもなく、今日においても深刻な人権問題です。今回の特別講座では2つの目的に基づいて話を進めていこうと思います。まず、ひとつめの目的として「ハンセン病問題がどのような問題であるのか」を丁寧にお話します。ハンセン病の問題がなぜ深刻な問題であり、今も終わっていないといわれているのかを受講者と共有します。また、もうひとつの目的として、保育・福祉に従事する専門職者が人を大切にすることを再確認する手がかりをハンセン病療養所において取り組んでいる実践の報告を通して考えていきます。

小林洋司(日本福祉大学)  
小関里美(一麦保育園)

## H 乳幼児期の運動遊び

運動遊びは乳幼児期の子ども達にとって重要な活動です。ただ動き回るだけでなく、発育発達レベルに応じた運動遊びを実践することで、より有効で効果的な活動に繋がります。子ども達の「笑顔」「喜び」「歓声」を大切にしながら正しく運動遊びを実施することで、運動嫌いの子ども達が居なくなることを願っています。理論と実際を交えながら、参加者全員で楽しみながら学ぶ機会にしたいと思えます。

三宅一郎(兵庫大学・兵庫大学短期大学部)

## I 保育にいかす手あそび わらべうた

手を使って1～10までのあそび、2人組になってゆさぶりあそび、子どもたちは手あそびが大好きです。わらべうたのぬくもり、身体をふれ合って刺激することで笑顔になれる言葉の気持ちよさを！すぐに保育で使えるあそびをたくさん覚え楽しい保育実践を！！

梅谷美子(手遊び、わらべうた実践家)

## J ごっこ・劇あそび・劇づくり

### ～絵本からあそびを楽しむ～

子どもの本の出版社を中心としてブックスタートが謳われ、行政が保健所の乳児健診の際に絵本を手渡す取り組みを始めて久しくなります。保育園ではそのずっと前から、保育のなかではなくてはならないものとして、乳児からの読み聞かせを楽しんでいます。家庭でそれとは少し異なるようですが、まねっこや身ぶり表現を促し、みたく・つもりあそびやお話ごっこ・劇あそびを楽しむことに繋がっています。講座では絵本からのあそびが劇づくりに結び付いて行くことを実践的に報告します。

徳永満理(兵庫大学非常勤講師)

## K 落語を楽しむ

毎日保育に携わり、お忙しくされていらっしゃる皆様に、少しリラックスした時間を過ごしていただければ、と思います。「お笑い」ですので、むずかしい話はいたしません。気楽にお聞きください。気分を開放して楽しんでいただきまして、その中に少しでもヒントになることがありましたら、こんなありがたい事はございません。どうぞ最後まで、ごゆっくりお楽しみくださいませ。

林家染左(噺家)

## L 日本における保育カリキュラムー歴史と課題

「指針」「要領」が改定されました。「指針」では「全体的な計画」は「各保育所が創意工夫して保育できるよう、作成されなければならない」としています。また、「要領」では、「カリキュラム・マネジメント」という新しいことばも登場してきています。保育カリキュラムとはなんのでしょうか。私たちはその長い歴史もっています。これまでのことを総括し、新しいカリキュラムを創造するという課題に立たされています。どうしたらいいのか、みんなで考えたいと思います。

宍戸健夫(同朋大学)

## M 赤ちゃんの身体づくり

### ～ベビーマッサージ&赤ちゃん体操をマスターしましょう！～

今、子どもの身体が大きく変化しています。『ロコモティブシンドローム(運動器の機能低下)』といわれるような状況が多発し、学校検診の項目に導入されました。乳児期からの身体づくりに注目し、ベビーマッサージの大切さを考えてみたいと思います。内臓・筋肉・骨の発達を促し月齢に応じた動きがスムーズに行えることが最終目的です。からだの発達が気になる子どもに対する働きかけなど、映像を見ながら探っていきましょう。

山口千恵子(おさなご保育園看護師・  
ベビーマッサージインストラクター)

## N 社会福祉法人のあり方とは？

兵庫県では2つの運営費の不正流用問題がマスコミを騒がせました。兵庫県保育経営懇話会では、問題について委員会を立ち上げ、組織運営についての分析を行いました。論議を進める中で、特別な法人の問題ではなく新制度の中で、本来あるべき福祉法人のあり方を、私たちに突き付けられている内容でした。組織・財政・保育労働の柱より報告して論議を深めていきたいと思っています。

コーディネーター 杉山隆一(大阪保育研究所)  
報告者:池上義三・松川修・前田千代  
(兵庫県保育経営研究懇話会調査委員会)

## O みんなが幸せになるために

### ～誰もが自分らしく笑うこと、悩むことを応援します～

保育園の障害児保育から生まれた「NPO法人IPPO」は、ノーマライゼーションの精神で、障害のある人達の支援や様々な活動を行っています。障害のある人達の自己表現の場「アートスペース」を始め、勉強を支援する「勉強の会」趣味を広げる「ピアノ教室」や「パソコン教室」など、ひとりの声を大切に、みんなの明日につながる願いを実現してきました。そして、障害福祉事業も立ち上げ、保育園と連携して活動しています。

社会福祉法人杉の子会  
さんぽ支援センター 小林保子

### ～お詫びと訂正～

2月1日発行の「第57回全国保育問題研究会兵庫集案内」では、特別講座D「子どもの権利条約とこれからの保育～改正児童福祉のもとで～(山下雅彦氏:東海大学・全国保問研熊本集案内実行委員長)」の講座内容が、実行委員会の編集の不慎により記載できていませんでした。

参加予定の皆様ならびに関係の皆様には大変なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

第57回全国保育問題研究会 兵庫集案 実行委員会